



野尻 英晶  
Nojiri Hideaki

## ついに初出荷

岡山県生まれのブドウ『オーロラブラック』。大粒で種なし、脱粒しにくく、濃厚な味わいと高い糖度の特徴です。「蒜山は寒暖差が大きいので、特に甘くなりやすいですね」と話すのは、(一社)蒜山農業公社に勤める、野尻英晶さんです。

今年、蒜山農業公社から、オーロラブラックが初めて出荷されました。同社では、令和2年度に県の事業を活用してパイプハウスなどのほ場を整備し、ブドウの栽培を開始。オーロラブラックのほか、ピオーネ、シャインマスカットを作っています。

# 真

MANIWA BITO

# 庭人

同社でのブドウ栽培に、当初から携わってきた野尻さん。特に、ほ場の整備は大変だったと振り返ります。「土壌改良からのスタートでした。重機を借りて来て、土を入れたり、たくさん資材を運んだりしましたね」と話します。その苦労を経て今年、合計約1700房のブドウができ、出荷となりました。

## 「ありがとう」がやりがい

蒜山農業公社の業務は、ブドウやキクラゲなどの作物を作るほか、たい肥の生産・配達、道の草刈りや除雪など多岐に渡ります。また、農地のあつせんも行っており、これまでも就農希望者の相談

収穫したブドウを出荷に向けて袋に入れる野尻さん



## 野尻 英晶さん (蒜山下長田)

(一社) 蒜山農業公社事務局長。蒜山上長田出身。県外の企業や真庭農協に勤めた後、(一社) 蒜山農業公社に入社。フルーツはだいたいなんでも好き。楽しみは毎日の晩酌で、犬の散歩と朝学校に行く近所の子供たちを見送るのが日課。現在、一緒にブドウを育てる仲間を探している。

に乗ってきたとのこと。「自然の中で仕事ができるので、環境はとても良いです。それに、やはりやりがいがあります。蒜山で農業を始めたい人は、相談してもらえればと思いますね」と話します。

終始笑顔を絶やさない野尻さん。そのエネルギーの源を尋ねてみると、「大変なことは多いですけど、住民の方が『ありがとう』と喜んでくれるのが一番ですからね」と話してくれました。

